

# 議案第2号 令和2年度事業報告・収支決算

## 令和2年度 事業報告について

### 令和2年度基本方針

平成28年度に策定したネットワークの今後の方向性に基づき、北上川流域の子供達が「地域で育ち、地域に貢献」する姿を目指し、下記の事業方針に基づき令和2年度事業を実施します。

### 事業方針1：社会情勢の変化に対応し、活躍できるものづくり人材の育成を支援します

産業構造の変化、第4次産業革命等の社会情勢の変化に対応できる高度な技術と柔軟な発想を持ったものづくり人材を育成する事業を支援します。

また、会員の主体的活動の強化や会員拡大など、運営体制の充実を図ります。

#### 1 高校・短大等対象事業

##### (1) 実技講習会【R2計画：30回、R2実績：21回】

工業高校生を対象とした資格取得に向けた実技講習会等を開催しました。また、実技講習に必要な講師指定の実習材料について補助しました。

黒沢尻工業高校では、第一種電気工事士技能試験受験者41名中40名が合格しました（合格率、人数とも過去最多）。盛岡工業高校（6名）及び千厩高校（5名）では、第一種電気工事士技能試験受験者が全員合格しました。一関工業高校（39名）では実技講習をオンラインで行う新しい試みが行われました。

##### ○ 申込み 21回、全て実施済み

盛岡工業高校：第一種電気工事士4回、黒沢尻工業高校：第一種電気工事士4回

水沢工業高校：木材加工(ものづくりコンテスト)2回、一関工業高校：第二種電気工事士1回、千厩高校：電子機器組立3級3回、第一種電気工事士4回

釜石商工高校：電子機器組立3級3回

##### (2) 長期インターンシップ【R2計画：高校6校 専攻科1校、R2実績：高校4校 専攻科1校】

各工業系高校、黒沢尻工業高等学校専攻科で長期インターンシップ等を実施しました。

製造業のインターンシップ先の確保に苦慮している状況であるため、会員企業のインターンシップ受入可否を調査し、情報提供することが必要です。

##### ○ 工業高校4校、黒沢尻工業高校専攻科で実施

##### (3) 地域高度技能人材育成支援事業【R2計画：2名、R2実績：2名】

黒沢尻工業高校専攻科に通学困難地域からの進学を促進するため、家賃の補助を行いました。

また、黒沢尻工業高校と連携し、各工業高校に対して専攻科及び当事業のPR活動を実施しました。

令和3年度の専攻科入学予定者が定員を下回った(8名/定員12名)ことから、専攻科と連携して県内工業高校の教員や生徒及び県内企業に対し、専攻科及び当事業のさらなるPRが必要です。

##### ○ 令和元年度に通学困難地域から入学した2名(2年生)への家賃補助を実施

工業高校訪問の際に、専攻科及び当事業のPRを実施。

#### 2 会員企業等対象事業

##### (1) ものづくりいわて塾の開催【R2計画：1期6回、R2実績：1期3回、フォロー研修1回】

若手従業員を対象に、TPM活動の現場実践を通じてカイゼンへの気付きを学ぶこと、継続的な塾活

動を通じて塾生同志の連帯感を醸成することを目的に、ものづくりいわて塾を開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策のため、ものづくりいわて塾沿岸サテライトとの合同研修及び塾生等のOB会は実施を見送りました。

今年度は、回数を見直し、合宿研修を中止したことから、今後、塾生同志の連帯感の醸成を図る代替策が必要です。

○ ものづくりいわて塾

新型コロナウイルス感染症対策のため、開催回数を6回から3回に見直し、例年の半数程度の9社11名の塾生で実施。講師は堀内 厚氏（有P S Iコンサルティング 代表）、小石川 紳氏（元株東北佐竹製作所T P M推進室長）にお願いし、和同産業(株)に改善現場として協力いただき実施した。フォロー研修として先進的取組企業見学を実施（3/11）。

○ ものづくりいわて塾OB会

新型コロナウイルス感染防止のため中止。

(2) グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催

【R2計画：初級編1期3回、実践編1期6回、R2実績：初級編1期2回、実践編1期6回】

「シンプル」、「手作り」、「ローコスト」なからくり改善を、基礎講座や工場見学、グループワークや実践により学びました。

令和2年度からは、「初級編」と「実践編」に分けて実施し、参加者のレベルに合わせることで、内容の充実を図りました。

講師、世話人からの助言や受講者間での情報交換により、修了者は全員試作品を製作することができました。受講者からは、「使用する方々が楽で安全に作業できるよう目指して完成させたい」「仕事上でもより多くの視点から物事を考えられるようになった」との感想を頂きました。

受講者から、本講座修了後も情報交換を行いたいとの希望があったことから、今後、修了者向け情報交換会の開催を検討します。

○ 初級編

開催回数を3回から2回に見直し、9社12名が受講（7/16、7/28）。講師として大下隆之氏（株ミックニ）、アドバイザーとして佐藤好夫氏（トヨタ自動車東日本株岩手工場）に御指導いただき、からくり改善の基礎的な知識を習得した。

○ 実践編

6社10名の参加者が他の取組事例を参考に各自の職場改善に取り組んだ。講師として佐藤好夫氏、世話人として大下隆之氏に初級編に引き続き御指導いただいた。（8/26、9/25、10/23、11/27、12/16、2/19）。

(3) 改善活動等のサミット・企業見学会の開催【R2計画：1回、R2実績：なし】

3S（整理、整頓、清掃）をはじめとした改善の取組事例を学び、生産性向上や人材育成を推進するため、サミットと企業見学会を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を見送りました。開催検討については、会員企業等で構成する実行委員会が行いました。

来年度以降、サミットを開催することとし、感染症対策と成果を両立できるよう開催方法を検討するとともに、発表者を確保するため、実施内容や周知方法を見直していきます。

○ 実行委員会（10/2、11/27）を開催し、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度のサミットの実施を見送った。

## 事業方針2：いわての未来を担う人材育成を進めます

学生や児童生徒など、これからの地域を支える人材の育成とともに、教員の指導力向上や企業と学校の連携を促進し、将来の“ものづくり人材”の育成体制を強化します。

また、ネットワークの取組の情報発信を強化するとともに、県北・沿岸地域の工業高校生等の企業会員のPRを強化し、岩手県全体を視野に入れたものづくり人材の育成に力を入れます。

さらに、会員企業の従業員の技術力向上に向け、人材育成の取組を展開します。

### 1 小中学生対象事業

#### (1) 工場見学・出前授業支援【R2計画：68回、R2実績：44回】

小中学校の希望に応じ、見学先

の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行うとともに、工場見学について要する経費の補助を行いました。企業が出前授業を行う際に必要となる材料費についても支援していくこととしていましたが、実績はありませんでした。

また、学校が工場見学や出前授業等を開催するにあたり、見学先や講師の選定をはじめとする運営全般について、学校からの相談対応を行いました。

コロナ禍にもかかわらず、会員企業の協力により地域企業やものづくりの楽しさを知る機会を提供することができました。また、感染防止の観点から、出前授業が増加するとともに、学校周辺の企業を見学したいというニーズが増加しました。

さらに、出前授業の内容や工場見学の内容を事前に分かりやすく、小中学校に対して情報発信する必要があります。

- 工場見学 申込 33校、11月までに全て実施済み
- 出前授業 申込 11校・団体、2月までに全て実施済み

#### (2) ものづくり体験教室 in 工場【R2計画：2回、R2実績：2回】

小中学生を対象に、工場見学と工場でのものづくり体験教室を開催し、ものづくりの楽しさを感じてもらおうと共に地域企業を知る機会を提供しました。

アンケート結果によると、参加者の97%が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答し、特に製作体験に満足しています。また、参加した保護者からは、「親としても興味深かった。ものづくりに興味を持ってくれたようで良かった」「工場を見学する機会のはめったにないため面白かった」「企画を続けて欲しい」との感想が寄せられました。今後も引き続き、製作体験をきっかけに地域企業を知ってもらう取組を進めます。

- 1/7 北上会場：(株)薄衣電解工業「“金”の葉っぱのしおりに作ろう！」  
(参加者：小学生34名、保護者19名、合計53名)
- 1/8 花巻会場：(株)アイオー精密「世界に一つだけのコマ」  
(参加者：小学生7名、保護者4名、合計11名)

#### (3) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援事業【R2計画：12回、R2実績：4回】

団体会員、学校会員が、小中学生を対象としてもものづくりの理解促進等に係る行事を実施した場合、その経費の一部を補助しました。

事業利用を促進するため、事業周知方法や支援対象とする行事、経費について見直す必要があります。

- 申込 5件(学校2件、団体3件)、4件実施済み、1件は感染症対策のため行事中止

### 2 高校生・短大生等対象事業

#### (1) 工場見学・出前授業支援【R2計画：45回、R2実績：44回】

工業高校等の希望に応じ、工場見学や出前授業の実施にあたり、見学先の調整や行程の作成、講師との調整及び学校への講師派遣などを行いました。

今年度は黒沢尻工業高等学校専攻科の「地域産業」(出前授業)を、21回開催し、地域企業を知る機会を提供しました。

なお、令和2年度は、岩手県産業技術短期大学校水沢校で実施する30周年記念事業に係る出前授業についても支援を計画しましたが、学校予算で対応できたことから申請がありませんでした。

- バス工場見学：申込7件、全て実施済み(うち1回は黒沢尻工業高校PTAの企業見学会)
- ・ 出前授業：申込37件、全て実施済み(うち21回は黒沢尻工業高校専攻科「地域産業」)

#### (2) はなまきテクノフェアバス代補助【R2計画：1回、R2実績：なし】

テクノフェア見学時のバス代を、花巻工業クラブ及び花巻市で県内高校へ補助することとし、併せて北上川流域の企業を見学する際にバス代が不足する場合、不足分を補助することとしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業の実施が見送られました。

### 3 指導者研修支援

#### (1) 実技講習会、講演会、アドバンスゼミ【R2計画：4回、R2実績：3回】

教員等を対象に企業講師による実技講習会や講演会を開催しました。ベテラン教員から若手教員へノウハウを伝える勉強会(アドバンスゼミ)は実施しませんでした。

アドバンスゼミが2年連続で開催できなかったため、令和3年度は工業部会と連携し、内容を見直しの上、実施に向け調整を行います。

- 実技講習会：水沢工業高校 木材加工 2回実施済み(再掲)
- 講演会：11/20 岩手県高等学校教育研究会工業部会(講師：榎南部美人 代表取締役社長 久慈浩介氏)
- アドバンスゼミ：今年度 開催なし

#### (2) 企業見学会等支援【R2計画：28回、R2実績：12回】

小中高大学の教員を対象としたミニ企業見学会(現地集合・解散型見学会)を開催しました。

アンケート結果では、回答者全員から、今後も「見学会に参加したい」「見学先企業によっては参加したい」との回答がありました。参加者からは「企業と生徒をつなぐ教員の役割は大きいと感じた。現場の様子を伝えたい。」との感想がありました。

見学会への参加にあたり、夏休み以外を希望される参加者もあることから、開催時期の検討が必要です。

なお、小中学校の教員を対象とした実践的キャリア教育研修会支援については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

- 教員向けミニ企業見学会：奥州地区5社、盛岡地区5社、産業技術短期大学校水沢校の計12回、現地集合・解散型の見学会を実施。延べ81名が参加(8/3~6)

### 4 保護者対象事業

#### (1) 会員企業の情報発信【R2計画：4回、R2実績：15回】

高校を会場とした企業ガイダンス(県南広域振興局事業)において、会員企業情報(いわて県南広域企業ガイド)を配布し、地域企業情報を発信するとともに、沿岸・県北の工業高校へも配布しました。

- 県南広域振興局で作成している「いわて県南広域企業ガイド」のうち会員企業を掲載した冊子「北上川流域ものづくりネットワーク&いわて県南広域企業ガイド」を1200部作成。
- 学校を会場とした企業ガイダンス(県南局事業に共催)において参加した生徒・保護者に配付(千厩高校(11/10)、水沢工業高校(11/11)、一関工業高校(11/25)、花北青雲高校(2/25))。
- このほか、一関市及びジョブカフェいわてが学校単位で実施したガイダンスにおいて本冊子を配付した(大迫高校(2/15)、水沢第一高校(2/24)、一関学院高校(2/24)、岩谷堂高(2/26)、一関修紅高校(3/4))ほか、沿岸・県北の工業高校に配付した。

## 5 会員企業対象事業

### (1) グループ情報交換会の開催【R2計画：3回、R2実績：3回】

「採用力向上」をテーマに少人数による情報交換会を開催しました。

高卒採用編は、第1回(4/23)は8社10名が参加し、高校教員3名を囲み座談会・情報交換を行いました。第2回(6/4)は5社5名が参加し、オンライン形式で、伝わる求人票作成のポイント、企業見学会の受入れ方法、適性を見極める面接方法などを勉強し情報交換を行いました。

大卒採用編についても、オンライン形式で実施し、23社36名が参加。新型コロナ禍で変化する採用活動の中で、自社で採用したい人物像を見つめ直すことや、学生へのアプローチ方法等について学びました。

- 採用力向上のための勉強会(高卒採用編4/23、6/4、大卒採用編11/27)において、勉強会と企業間の情報交換(グループワーク)を実施。

### (2) 情報発信

新たに立ち上げたホームページを活用し、ネットワークの活動、企業や学校の情報、ものづくり産業など、会員、小中学生、高校生、教員、保護者等のそれぞれのニーズに応じた情報を発信しました。

5、6月は、事業申込(特に学校対象)に関するページが、7～12月は、会員情報ページへの閲覧数が多くなりました。

見学先の検討にあたり、HPを参考にした学校は53%(出典：小中学生対象工場見学アンケート(1月末現在(最終)。回答率58%))であり、今後、活用にあたり一層の周知と内容の充実を図っていきます。

- アクセス数2,004件、ページビュー7,946件(期間：5/15～12/31)。

## 事業方針3：県北・沿岸地域と連携したものづくり産業の発展を目指します

県北・沿岸地域のネットワークと連携しながら、県全体のものづくり産業の発展に向けた取組を進めました。

- ・ものづくりいわて塾沿岸サテライトと連携したいわて塾(合同研修会の開催)【中止・再掲】
- ・各種事業における県北・沿岸地域との連携
- ・県北・沿岸地域の工業高校等との情報交換、工場見学等支援

- 県北沿岸地域の工業高校等との情報交換、工場見学等支援
  - ・県北沿岸地域の工業高校、振興局担当者等との情報交換を実施(6/8～9、1/27～2/15)
  - ・「生産性向上のためのからくり改善勉強会」で県北ものづくり産業ネットワーク事務局が視察(8/26、9/25)
  - ・二戸市立中央小学校(9/24)、陸前高田市立横田小学校(10/23)の工場見学を支援
  - ・釜石商工高校の実技講習会(電子機器組立3級)を3回支援(再掲)
  - ・ものづくりいわて塾沿岸サテライトは、今年度開催見送りのため合同開催なし

## 令和2年度 事業実績

### 【小中学校等対象】

	単位	R 2		R元	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 工場見学・出前授業支援	回	68	44	68	工場見学33件、出前授業11件
(2) 小中学生ものづくり理解促進行事開催支援	団体	12	4	11	
(3) ものづくり体験教室in工場	回	2	2	4	

### 【高校・短大等対象】

	単位	R 2		R元	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 実技講習会等支援	回	30	21	37	6校、上半期は試験中止
(2) 長期インターンシップ・モデル 3～5日間・工業高校2年 2週間・専攻科1年	校	6	4	6	
	名	5	3	9	
(3) 出前授業・工場見学支援	回	45	44	42	専攻科「地域産業」21回、工場見学7件、出前授業16件
(4) 地域高度技能人材育成支援	人	2	2	2	専攻科生2名
(5) はなまきテクノフェア バス代支援	回	1	-	-	中止

### 【指導者対象】

	単位	R 2		R元	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 実技講習会・講演会・アドバンス ゼミ 企業見学会等（小中教員含む） うちミニ企業見学会	回	4	3	4	
		28	12	30	
		(18)	(12)	(19)	

### 【保護者対象】

	単位	R 2		R元	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) 会員企業の情報発信	回	4	15	4	高校における企業ガイダンスでの情報発信、沿岸・県北高校への冊子の配布

### 【会員企業等対象】

	単位	R 2		R元	摘 要
		計画	実績	実績	
(1) ものづくりいわて塾	期	1	1	1	回数見直し
	回	6	4	7	
(2) いわて塾 0B会	回	1	-	1	中止
(3) いわて3Sサミット、見学会	回	1	-	1	中止
(4) グループ勉強会「生産性向上のためのからくり改善勉強会」	期	初	1	1	初級編
	回	3	2		回数見直し
	期	実	1	1	実践編
	回	6	6	6	
(5) グループ情報交換会	回	3	3	3	採用力向上のための勉強会(高卒採用編2回、大卒採用編1回)

## 令和2年度 収支決算書

## 【収入の部】

(単位:円)

	令和2年度 当初予算額①	令和2年度 決算額②	比較増減②-① (当初予算比)	摘 要
I 会費収入	4,500,000	4,440,000	▲ 60,000	・148会員×@30,000円=4,440千円 ・会費納入義務会員148社
II 積立金繰戻	-	-	0	
III 利息収入	25	29	4	・預金利息
IV 前期繰越金	1,716,247	1,716,247	0	
V その他	0	0	0	
合 計	6,216,272	6,156,276	▲ 59,996	

## 【支出の部】

(単位:円)

	令和2年度 当初予算額①	令和2年度 決算額②	比較増減②-① (当初予算比)	摘 要
I 事業費	5,330,000	1,885,189	▲ 3,444,811	
(内訳)				
小中学生対象	1,650,000	582,027	▲ 1,067,973	・小中学生を対象としたものづくり教育支援事業
高校生・短大生等対象	1,470,000	782,459	▲ 687,541	・工業高校生等を対象とした技能取得支援等 ・工業高校教員を対象とした指導者研修支援等
会員企業等対象	1,450,000	513,938	▲ 936,062	・会員企業を対象とした若手従業員等研修支援
その他	460,000	0	▲ 460,000	・総会開催経費
広報費	300,000	6,765	▲ 293,235	・ホームページ管理費 ・チラシ印刷代等
II 事務費	300,000	82,490	▲ 217,510	・運営委員会開催経費 ・消耗品費等
III 予備費	336,272	258,720	▲ 77,552	・音声ガイドシステム購入
IV 積立	250,000	250,000	0	・15周年記念事業 ※15周年記念事業:定期預金へ
合 計	6,216,272	2,476,399	▲ 3,739,873	

(収入)6,156,276円 - (支出)2,476,399円 = (差引残額)3,679,877 円

差引残額3,679,877円は令和3年度に繰り越す。

## 令和2年度 収支内訳書

## 【収入の部】

(単位:円)

	令和2年度 当初予算額①	令和2年度 決算額②	比較増減(②-①) (当初予算比)	摘 要
1 会費収入	4,500,000	4,440,000	▲ 60,000	148会員×@30千円=4,440千円 納入義務会員148社
2 積立金繰戻	0	0	0	
3 利息収入	25	29	4	預金利息
4 前期繰越金	1,716,247	1,716,247	0	
5 その他	0	0	0	
合 計 (1～5)	6,216,272	6,156,276	▲ 59,996	

## 【支出の部】

(単位:円)

	令和2年度 当初予算額①	令和2年度 決算額②	比較増減(②-①) (当初予算比)	摘 要
I 事業費 (1～5)	5,330,000	1,885,189	▲ 3,444,811	
1 小中学生等対象	1,650,000	582,027	▲ 1,067,973	
(1) 工場見学・出前授業支援事業	700,000	367,150	▲ 332,850	19校に対し補助
(2) ものづくり体験教室支援事業	100,000	50,510	▲ 49,490	北上、花巻の2会場の材料費・保険料等
(3) 小中学生ものづくり理解促進事業開催費補助	850,000	164,367	▲ 685,633	4件(団体2件、学校2件)に補助
2 高校生・短大生等対象	1,470,000	782,459	▲ 687,541	
(1) 実技講習会等支援事業	330,000	116,394	▲ 213,606	実技講習会6校に対し補助
(2) 長期インターンシップモデル事業	0	0	0	ゼロ予算
(3) 出前授業・工場見学支援事業	300,000	26,765	▲ 273,235	出前授業講師謝金等
(4) 指導者研修支援事業	100,000	0	▲ 100,000	県予算で対応のためなし
(5) 保護者等対象事業	400,000	399,300	▲ 700	高校を会場とした企業ガイダンス資料代
(6) 地域高度技能人材育成支援事業	340,000	240,000	▲ 100,000	遠隔地住居支援等 10,000円/人月×12か月×2人=240,000円
3 会員企業等対象	1,450,000	513,938	▲ 936,062	
(1) 若手従業員等研修支援事業	1,450,000	513,938	▲ 936,062	からくり改善勉強会、いわて塾、いわて塾(フォローアップ研修)にかかる経費
4 その他	460,000	0	▲ 460,000	
(1) ネットワーク総会費	260,000	0	▲ 260,000	書面協議のためなし
(2) はなまきテクノフェアバス代支援	200,000	0	▲ 200,000	中止のため実施なし
5 広報費	300,000	6,765	▲ 293,235	
(1) 広報費	300,000	6,765	▲ 293,235	ホームページ管理費
II 事務費	300,000	82,490	▲ 217,510	運営委員会経費、消耗品代、旅費等
III 予備費	336,272	258,720	▲ 77,552	音声ガイドシステム購入
IV 積立	250,000	250,000	0	15周年記念大会積立金250,000円
合 計 (I～IV)	6,216,272	2,476,399	▲ 3,739,873	

収入決算見込額①	6,156,276
支出見込み額②	2,476,399
差引残額見込額①-②	3,679,877

↓  
次年度繰越予定額

## 令和2年度 積立金収支決算書

(単位:円)

	令和2年度 収入	令和2年度 支出	摘 要
I 繰越金	750,064	0	令和元年度からの繰越
II 一般会計より繰入	250,000	0	15周年記念事業積立分
III 一般会計へ繰り出し	0	0	
IV 預金利息	70	0	
合 計	1,000,134	0	

収入合計 1,000,134 円 - 支出合計 0 円 = 差引残額 1,000,134 円

差引残額は、次年度に繰り越すものとする。

### ◆ 積立金の内容

- 1 15周年記念事業 1,000,000 円 (平成29年度よりネットワーク15周年記念事業準備目的で積立)
- 2 預金利息 134 円

## 令和2年度 現預金および備品の状況

令和3年3月末日時点

### 現預金

種別	銀行	支店	口座番号	金額	備考
普通	岩手銀行	北上支店	2022722	3,679,877円	

### 定期預金

種別	銀行	支店	口座番号	金額	預入期間	満期	備考
定期	岩手銀行	北上支店	2111190	1000134円	6か月	2021/9/7	令和2年度積立

(定期預金合計)

1,000,134円

### 備品等

項目	種別	数量	製造会社・品番等	摘要
備品	ビデオカメラ	1	パナソニック HC-V230M	平成26年度購入分
	ラップトップパソコン	1	パナソニック CF-59JYEPDR	平成22年度購入分
	ラップトップパソコン	1	富士通 LIFEBOOK AH77/B3	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	30	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成21年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	12	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成23年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	2	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成21年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	21	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	3	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成29年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	2	アツデン UHF RECEIVER 50UR	平成30年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	1	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	平成30年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 受信機	10	アツデン UHF RECEIVER 50UR	令和2年度購入分
	ワイヤレス音声ガイド 送信機	1	アツデン UHF TRANSMITTER 50UR	令和2年度購入分

## 監査報告書

北上川流域ものづくりネットワーク令和2年度収支決算にあたり、証拠書類等を監査した結果、適正に執行されているものと認めます。

令和3年 4 月 12 日

監 事

木村幸男 